

平成 22 年度臨時総会議事録

日 時 平成 23 年 2 月 21 日 (月) 18 : 00 ~ 18 : 50

場 所 (株)構造計画研究所 本所新館

定款第 30 条により議長に数土 文夫会長を選出し、定款 33 条により定足数の確認が行われた。

出席者 71 名 (書面による出席者 53 名を含む)

ただし有資格社員数 90 名 (定足数 45 名)

上記の通り出席者が定款第 33 条に定める定足数に達したので、定款第 36 条により議事録署名人に香田正人、中川義之の両氏を選出して議事に入った。

第 1 号議案 平成 23 年度事業計画の件

渡辺理事より別紙*平成 23 年度事業計画について説明があった。これについて、以下のような質疑応答があった。(別紙は本誌 6 月号参照)

1. 「事業計画 5 条 5 項の“横断型基幹科学技術研究団体連合の活動への参加については、そのあり方も含め見直しを図る。”という文言から消極的な方針という印象があるが消極的と捉えていいのか」という質問があり、香田理事より「連合の組織構成に大きな変更が起きており、今後は団体の構成などを参考にしながら、より積極的な参加から連合からの脱退を含め、様々な方向を検討したい」との返答があった。
2. 「事業計画 6 条 1 項の“IFORS を通じて、各国の OR 学会との交流、協力を図る。”について、実際にどのような協力を行なっているのか」という質問があり、村松理事より「メーリングリストを通じて IFORS への参加を呼びかけており、セッションが複数持たれている。」という返答があった。
3. 「事業計画 7 条の“研究部会・研究グループ”について、すべての部会・グループは研究発表大会におけるポスターセッションなど、対面での活動報告を義務付けるべきではないか」という質問があり、大澤理事より「今後、そのような場を設けることや明確な義務付けを行うかどうかを研究委員で議論したい」との返答があった。

これらの質疑応答を経て、事業計画については原案通り異議なく承認された。

第 2 号議案 平成 23 年度予算の件

桑畑理事より別紙平成 23 年度予算書について「収支バランスを整合させるための準備を含んだ予算を組んでいる」という趣旨の説明があった。これについて、以下のような質疑応答があった。

1. 「“広告収入”が前年度予算額と比較して大きく増額されている」という指摘について、丸山事務局長より「今年度実績にあわせて予測したものであり、また広告掲載をする会社が増えることも織り込んでいる」という返答があった。
2. 「“給料手当支出”が事業費支出と管理費支出に同じ金額計上されている」という指摘について桑畑理事より「事務局では、研究大会の運営などの事業と学会会員情報などの管理を担っているため、両方に半分ずつ計上している」という返答があった。
3. 「“修繕費”が前年度予算額と比較して大きく増額されている」という指摘について、丸山事務局長より

「これまで使用していた事務局の部屋のうちの一つを学会センターに返却するにあたり、運搬費や部屋の修繕費の発生を見込んで計上している」という返答があった。

これらの質疑応答を経て、事業計画については原案通り異議なく承認された。

第3号議案 名誉会員推薦の件

議長より別紙名誉会員推薦について説明があり、原案通り異議なく承認された。

以上で総会の議事を終了し、議長は閉会を宣した。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

平成 23 年 2 月 21 日

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
平成 22 年度臨時総会

議 長 數土 文夫

議事録署名人 香田 正人

議事録署名人 中川 義之